

御 ONJUKU 宿

No.603

11月

2012.平成24年



- P2~5 指定袋開始から1カ月
- P6~7 町の今後の指針「総合計画」
- P8~9 町の出来事
- P10~11 職業体験レポート
(御宿中学校)
- P12 防災ピックアップ
- P13 健康ワンポイント
- P14 暮らしの情報

ごみ出しは、
指定ごみ袋を使ってね！

導入から1カ月 その成果は!?

▼ごみの処理行程を真剣なまなざしで聞く子どもたち。
炎が噴きでる炉の様子をモニターで確認し、ごみの処理温度を聞いて「すごい!」といった歓声が上がっていました。



▲収集された粗大ごみの一部を前に、子どもたちは宝の山を見るように「まだ使えそうだね」や「これ欲しい!」など“MOTTAINAI”の気持ちでいっぱいになっている様子でした。

▲集められた缶類を見て、子どもたちは粗大ごみに紛れている缶類を拾い集めてくれました。分別の大切さ、楽しさが分かってくれたかな?

町では、ごみの排出量による負担の公平性や減量化に向けて平成24年10月1日から指定ごみ袋制を導入しました。住民の皆さまのご理解とご協力により、大きな混乱もなくスムーズに移行することができました。

導入から1カ月が過ぎましたので、その効果についてお伝えします。

我々が生活する上で切り離すことのできない“ごみ”。今後とも町が抱える大きな課題の一つではないでしょうか。

課題をゼロにすることは難しいかもしれませんが、しかし、この指定袋制を機に、分別方法など工夫し、それぞれが課題解決へ向けた努力など、継続的な取り組みが求められます。

“継続は力なり”日々の生活の中に減量化やエコ活動を取り入れてみませんか。

指定ごみ袋制

(単位：t)

10月収集分	平成23年	平成24年	増減率	
第1	月曜日	33.36	21.18	-36.5%
	木曜日	20.29	12.61	-37.9%
第2	火曜日(※1)	46.05	32.78	-28.8%
	木曜日	18.64	10.17	-45.4%
第3	月曜日	31.84	23.68	-25.6%
	木曜日	20.11	14.9	-25.9%
第4	月曜日	29.34	24.57	-16.3%
	木曜日	21.84	15.48	-29.1%
計(※2)	251.99	190.02	-24.6%	

※1. 体育の日により火曜日が収集日
※2. 直接搬入を含むので表の単純合計ではない

10月は25%減を達成!

10月4週目までの可燃ごみ収集結果は左記表のとおりとなり、昨年度と比較すると約25%の減となりました。

減量化を達成しただけでなく、分別意識やリサイクル意識が向上した事により町民の方からの『分別方法』についての問い合わせが非常に多くなりました。

**減量化だけじゃない!
指定袋の意外な効果!?**

これまで、カラスやネコ等によるごみの散らかし防止策として、良く活用されていたダンボール箱でのごみの排出。この排出方法は指定袋制の導入により改善が図られました。

ダンボールでの排出は、作業員が両手で抱えて収集車へ投入していましたが、袋になった事により片手での投入が可能になり、収集作業が迅速に行えるようになった他、雨の日でも無駄な水分を含むことがなくなるなど減量化以外の成果も現れています。

また、資源ごみとしてのダンボールの収集量が増加し(昨年度比25%増)、清掃センターの運営を助ける結果ともなっています。

**ごみ箱サイズもエコ化!
我が家のひと工夫**

指定ごみ袋制を導入したことにより、排出できる袋のサイズは大・小の2種類に固定されました。

家庭によっても排出状況は異なりますが、指定袋(大)は容量が大きく、燃えるごみに関しては、きちんと分別を行うことにより、かなりの余裕が生まれるのではないのでしょうか。

町民の方で「指定ごみ袋(小)サイズに合わせてごみ箱を小さくした。」という方からお話を伺うと、「ごみ箱を小さくし一袋で収めようと目標を決める事で、色々工夫したり分別したりと楽しく減量化が達成できました。」とお話頂きました。

**MOTTAINAIは
4つのR!**

環境保護活動家により世界的に提唱されている「MOTTAINAI」。

その言葉には、リデュース(消費削減)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)に加えて、リスペクト(尊敬)の概念が含まれています。

これまでの「3つのR」に一つ加えて「4つのR」。この4つのRでごみ問題に皆で取り組み、生活を支えてくれる製品に尊敬の念を持ち大切に利用しましょう。

**楽しみながら
エコチャレンジ!**

減量化や分別は楽しみながらチャレンジしてみてください。長く続けるには楽しむことも一つの工夫です。

ごみの減量化は皆さんの協力により達成できるものです。町では今後とも分別の啓発や減量化の呼びかけを継続的に実施します。また、排出方法についても、これまでの環境カレンダー等の見直しを進め、わかりやすく改善することを目指します。町民の皆さんには今後とも引き続きの減量化にご協力をお願いします。



御宿町赤十字奉仕団による活動



商工会青年部が行う地域活性化策



地域資源を保全・活用したまちづくり

御宿町総合計画

まちづくり提案



定住化促進対策・不動産情報を提供



岩和田保育所による2歳児保育



御宿岩和田漁協による6次産業化への取組み

平成25年度から平成34年度までの10年間にわたる新しい町づくりビジョン「御宿町総合計画」を策定するにあたり、より多くの住民の意見を計画に反映させるため、御宿町総合計画策定委員会及び御宿町総合計画策定懇談会を設置しました。

懇談会は、様々な分野における幅広いご意見をいただくため「住民協働による豊かな暮らしと安全安心なまちづくり」、「賑わいの創出と生活基盤を向上させるまちづくり」、「地域で支え助け合う子育て、福祉と教育のまちづくり」の3つに分かれ、各会員から出されたまちづくりに対する意見について協議されました。

今回は、各懇談会における「まちづくり提案」がまとまりましたのでご紹介します。

住民協働による豊かな暮らし と安全安心なまちづくり懇談会

本懇談会は、消防・防災や交通安全、地域公共交通（バス・鉄道）、町有財産の利用、住民自治、行財政運営、広域行政、公共施設の運用等における項目について協議されました。



誰がどのように行うのか

実現可能なまちづくり提案

懇談会の会員からは、それぞれの分野における地域課題について現状の説明とともに多くのご意見が出されました。

そのような中で、「行政が担うべき事項」と「住民が行うこと」、また「民間が行うこと」、「地域が行うこと」など、まちづくりに対する担い手を明確に整理し、『実現可能なまちづくり』について協議されました。

「住民協働による豊かな暮らしと安全安心なまちづくり懇談会」

は、左記のとおり十八名の会員で構成されています。

本懇談会からは、地域交通の確保策として「町民バスの運行」についてのご意見や、「地域コミュニティと連携した住みよいまちづくり」、定住化促進策としては、「幅広い年齢層を対象に、地域資源の活用や産業の連携を図った取組みの実施」についてご意見をいただきました。また、「民間事業所等の誘致に係る体制づくり」を進めることについてご意見がありました。

	氏名	備考
会長	瀧口 義雄	議会総務委員会委員長
副会長	長谷川充行	六軒町区
会員	大地 達夫	議会総務委員会副委員長
会員	中村俊六郎	議会議長
会員	滝口 一浩	議会総務委員会委員
会員	伊藤満須郎	須賀区
会員	星野 充	浜区
会員	岩瀬 芳和	高山田
会員	岩渕 昌之	久保区
会員	鶴岡 芳弘	新町区
会員	市東よし子	岩和田区
会員	吉田 豊昭	実谷区
会員	西川 俊夫	上布施区
会員	倉片 好武	御宿台区
会員	井上 和美	消防団
会員	井上 正一	いすみ交通安全協会 御宿支部
会員	芝 幸一郎	公募
会員	林 泰鑑	公募

(敬称略)



地域人材活用やコミュニケーション対策としては、「住民のスキルをまちづくりに活かすため、ボランティア等をまちづくりに活かす取組み」についてご意見をいただきましたほか、「男女の性別にとらわれないことなく、能力が発揮できる環境」を整えてはどうか、また、情報発信・共有、インターネットの積極的活用については、「時代に対応したインターネット等による行政情報をわかりやすく提供」することについてご意見をいただきました。また防災・防犯については、地域住民の安全確保に係る環境整備や情報提供の手法について、多くのご意見をいただきました。

町有地の活用方法については、「町有財産（土地・建物）を住民が有効に利用できるような使用方法・施設整備について検討してはどうか」とのご意見をいただきました。

地域で支え助け合う子育て、 福祉・教育のまちづくり

本懇談会は、高齢者福祉や児童福祉、地域福祉といった各種福祉施策や保健・医療のほか、学校教育や社会教育、文化振興、スポーツレクリエーション等における項目について協議されました。



地域における人材を

まちづくりに活かす

「地域で支え助け合う子育て、福祉・教育のまちづくり懇談会」は、左記のとおり十七名の会員で構成されています。

本懇談会からは、高齢者の生きがい対策として、「高齢者等の知恵や技術などを子どもたちに伝え教える機会を多く設けることで、地域や学校との関わりを多く持つことができないのではないか」というご意見があったほか、地域人材活用として、「地域におけるリーダー

の育成」、「高齢者等が有償で働ける仕組みづくり」、「住民の誰もが安全して暮らせるまちづくり」、「住民が交流できる場所づくり」等についてご意見が出されました。

また、核家族や共働き世帯が増加しているなかで、保育所や放課後児童クラブについては、「住民ニーズに対応した事業展開」を行ってほしいとのご意見があったほか、「学校施設に係る安全対策の充実と有効活用」、児童・生徒の減少に

伴い、「地域社会との触れ合いや他校、世代間交流」などを実施してはどうかとのご意見が出されました。そのほか、子育て環境の整備等については、安全に通学できる環境づくりとして、「地域住民の協力を得る仕組みづくり」についてご意見が出されました。

御宿町の伝統・文化の継承として、ましては、「ミヤコタナゴの住む自然を活用した生き生きとした地域づくり」についてご意見が出されたほか、「歴史民俗資料館を活用した郷土の歴史と文化を継承すること」とや、「インターネットによる情報発信」についてご意見がありました。また、住民の余暇や文化活動を促進させる仕掛け・環境づくりについては、「既存施設の有効活用」についてご意見が出されました。

	氏名	備考
会長	石井 芳清	議会教育民生委員会委員長
副会長	滝口 雅子	教育委員会
会員	玉井 茂夫	議会教育民生委員会副委員長
会員	白鳥 時忠	議会副議長
会員	大野 吉弘	議会教育民生委員会委員
会員	大屋 雅由	校長会
会員	塩入 健次	御宿中学校 PTA会
会員	高梨 嘉史	御宿小学校児童愛護会
会員	松永 勝司	布施小学校 PTA会
会員	長谷部美和子	御宿保育所保護者の会
会員	木村 三津男	体育協会
会員	齊藤 廣恵	社会福祉協議会
会員	佐久田みさ	老人クラブ連合会
会員	柳 弘子	民生委員・児童委員
会員	滝口 仲秋	身体障害者福祉会
会員	海老根雅恵	主任児童委員
会員	佐藤 和敏	公募

(敬称略)



賑わいの創出と生活基盤を 向上させるまちづくり

本懇談会は、環境保全やごみ対策、道路交通網の整備のほか、観光、漁業、農業、商工業といった各種産業振興、住宅や水道、河川管理、公園、消費生活等における項目について協議されました。



地域・産業連携が賑わいを創出 御宿の強みを最大限に活用

「賑わいの創出と生活基盤を向上させるまちづくり懇談会」は、左記のとおり十八名の会員で構成されています。

本懇談会からは、生活基盤環境整備として、「すべての住民が安全に暮らせる環境づくりを行うため、行政はもちろん、住民との協力による地域環境の整備や美化に取り組んではどうか」とのご意見が出されたほか、環境保全・ごみ対策

としては、「ごみの減量化・資源管理について、継続的に実施すること」や「御宿の自然（地域資源）を保全する環境整備」、「再生可能エネルギーの活用についての検討」、「排水浄化策等」についてご意見が出されました。

また、老朽化してくる公共施設等については、「住民が安心・快適に過ごせるよう維持管理を行うこと」や、公共施設の使用に対する

見直しを行うなかで、「施設利用による財源確保策に取り組む」ことについてご意見がありました。

観光施策については、賑わいを創出する取組みとして、行政だけでなく、住民や地域、民間、各種産業など、御宿におけるあらゆる主体が連携したまちづくりについて、多くのご意見が出されました。訪れた人々が、「御宿に来てよかった」、「また来てみたい」と思えるような仕掛けと環境づくりが重要とのご意見がありました。

また、産業振興については、「海洋環境の改善対策」をはじめ、各種産業が連携した中で、「宿泊型体験学習の実施」や「生産・加工・販売ができる仕組みづくり」、「休耕田対策」等についてご意見が出されました。

	氏名	備考
会長	小川 征	議会産業建設委員会委員長
副会長	井上 秀樹	農業委員会
会員	貝塚 嘉敏	議会産業建設委員会副委員長
会員	伊藤 博明	議会産業建設委員会委員
会員	新井 明	議会産業建設委員会委員
会員	吉清 文夫	一般社団法人御宿町観光協会
会員	畑中 英男	御宿岩和田漁業協同組合
会員	藤井 利一	商工会
会員	鈴木昭之助	衛生委員会
会員	田仲 正一	土木委員会
会員	高梨 強	御宿岩和田漁業協同組合青年部
会員	貝塚 優一	商工会青年部
会員	前田三千代	商工会女性部
会員	鈴木 元晴	NPO法人おんじゅく DE元気
会員	渡辺 幸夫	宿泊業関係
会員	青木 雄吾	青年団体連絡協議会
会員	三成 拓也	公募
会員	松本 令子	公募

(敬称略)



突撃！ NEW体育館 ～機能性抜群!?!～

今、私達が使っている体育館に代わる、新たな体育館の建設が進んでいます。我々は、その体育館の建設現場に突撃取材してきました。

まず、何故この新しい体育館が建設されることになったのかと言うと、中学校の老朽化が進み、地震などの自然災害に対し少し不安である、といった点から建設について話が進んでいました。

新たに出来る体育館は、2階建てで、旧体育館では別棟だった柔剣道場が、アリーナと一体になり、校舎から渡り廊下で体育館に入れたり、アリーナが広くなったり、車いすやまつば杖などでも楽にステージに上られるようになったりと、より使いやすくなるそうです。その他にも、耐震強化が施され、今後、起りうる自然災害に対し、避難所としての、防災の拠点としての利用も想定しているそうです。



建設の進む現場では、完成までに、専門職約50種、総勢約5,000人力で建設を進めています。その際、安全を第一に、また、私達の学校生活に支障が出ないよう騒音などにも気を使っているそうです。

こんなにもいろいろな工夫をこらして建設しているそうなので、今後、末長く大切に使用してもらいたいと思います。

海と向かい合う4人

海洋生物環境研究所では、九鬼君、山田君、岩瀬君、飯田君の学校生活でも仲の良い4人が職場体験をしました。

海洋生物環境研究所では、いろいろな機会を使い岩和田漁港の海水の水質検査や研究所周辺の放射能の検査をしていました。

私たちが取材へ行くと、研究所の方に教わった事をうる覚えながらも説明してくれました。夢中になっている4人に仕事の感想を聞いてみ



ると、「魚の解剖の見学のとき、とても直視できないものだったけど魚を見ておもしろいそうだった。」
 「いろいろな機械に触れることが出来て楽しい。」など自分達の仕事を和気あいあいと楽しそうにとりくんでいました。また、その他にも、「放射能についての理解を深めることができた。」「研究所の人の手際が良くてすごかった。」「3日間ではものたりない。」「つかれたけどやりがいのある仕事でとても楽しかった。」と彼らなりに仕事と前向きに向き合い、とても充実した3日間になったようです。



らしいとこでした

は、11月13日から15日までの
 験をし、普段は出来ないような
 験しました。その数ある職場の
 び、広報の仕事を経験しまし
 事を学ぶことができ、充実した

各職場と体育館の建設現場
 の体育館についてと、それぞれ
 と感想や、感じた事、働きぶり
 ぎればと思います。

本験学習 藤原究多 加藤未紗樹

発見！教師のタマゴ

2年前まで私たちがお世話になった御宿小学校で木原君、田口さん、長崎さんの3人が職場体験をしました。

私たちが取材に行ったときちょうど休み時間だったので、校庭でサッカーやおにごっこをして、一緒に遊んでいる姿を見ることができました。授業では採点などをやってもらいましたと、担当の先生から話を聞く事ができました。

中学生についての感想を小学生に聞いてみると、「カッコイイ」「やさしい」や「もつとずっと欲しい」などと話をしてくれました。

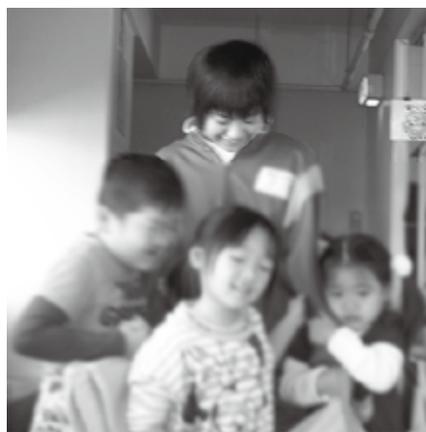
また、中学生に体験してみてもの感想を聞くと、「みんな元気があっていい。」「コミュニケーションを取るのが難しかった。」「とても楽しい。」「生徒の時の視点では分からなかった先生の大変さが分かりました。」と仕事の大変さを学んだようでした。

先生方に中学生の働きぶりを伺うと、「すごく一生懸命やってくれています。」「率先して作業をやってくれて、まじめです。」と、とても好評でした。



3人とも自分から小学生と向き合い、楽しそうにふれあっている姿は、まるで未来の先生を見ているようでした。

あふれる笑顔で心をひらく！



渡邊さん、吉田さん、皆川さん、菅藤さん、岩瀬さん、中村さんは御宿保育所で職場体験をしました。私達が取材に行くと、園児たちに囲まれて、とても楽しそうにしてる姿を目にしました。

中学生に体験してみてもの感想をきくと、「寝かせるのが大変。」「ずっと座りっぱなしだったから足がしびれた。」「園児たちに囲まれて動けなかった。」「園児たちに囲まれてもありましたが、「寝顔最高！」「かわいかった」など、仕事のやりが



「おにごっこやかくれんぼをして一緒に遊んでくれてすごく楽しかった。」「ずっと欲しい」など、小学校と同じように、とても人気でやさしいと言っていました。

先生に中学生の働きぶりを伺うと、「よくやっている」「若くて体力があるから本当に助かる」など職員と同じくらい働いてくれているといった話を聞くことができました。

彼女たちは、大変な仕事の中にも園児たちのふれあうことの楽しさを学んだようでした。

私達、御宿中学校2年生は3日間、全19ヶ所で、職場体験。素晴らしい事を身をもって体験。中で私達は、御宿町役場を選んだ。その仕事の中で数多くの3日間を過ごせました。この広報の作成にあたり、取材しました。新たに出来るの職場で、御中生の体験したなどをわずかながら、お伝えできたいと感じることができたよ

職場とはこんな素晴らしい

私達、御宿中学校2年生は3日間、全19ヶ所で、職場体験。素晴らしい事を身をもって体験。中で私達は、御宿町役場を選んだ。その仕事の中で数多くの3日間を過ごせました。この広報の作成にあたり、取材しました。新たに出来るの職場で、御中生の体験したなどをわずかながら、お伝えできたいと感じることができたよ

園児たちに中学生のお姉さんたちについての感想を聞くと、

2012 社会

自分の体力年齢 知っていますか？

～町健康体力チェック～



町健康体力チェックが10月20日、21日に町B&G海洋センターで国際武道大学の協力のもと実施されました。

この体力チェックは毎年恒例となっており、測定項目別に各年代に合わせ5段階で評価し、総合的に体力年齢を算出するもので、はじめての方は一般平均値と、過去に受けている方は過去の結果と比較して、自身の体力状況を把握することができます。



また、国際武道大学の先生による運動相談や、町保健師・栄養士による健康・栄養相談、食生活改善会によるレシピ紹介など、健康生活へ向けて色々なアドバイスが行われました。



「音楽・芸能のつどい」では、合唱や舞踊など様々なジャンルから18組が参加し、日頃の練習の成果を披露しました。

館内には、自主活動グループや一般の方々により製作された自慢の作品が数多く展示されました。



▲それぞれの作品が公民館に集う

「成果発表の場・町文化祭」御宿町文化祭が11月2日から4日までの間町公民館で行われ、多くの方が来場されました。

力作・熱演が公民館に集結!

また、「町国際交流協会」の主催のもと「NPO法人ワンワールド国際協力」等の協力により、メキシコの文化を知ってもらおうと「ディア・デ・ムエルスト」(日本のお盆にあたる伝統行事)の祭壇展示が行われました。

町の文化祭に併せて行われたこの企画は、今年が初めての試みで、11月3日には祭壇に並べられるパンやシナモンの効いたココア、メキシコの一般的な飲料であるハイビスカステイが来場者にふるまわれました。



▲温かいココアでほっと一息。



▲公民館の入口に再現されたディア・デ・ムエルストの祭壇

ダイヤモンドで輝く 土まみれの野球人

～秋季御宿町軟式野球大会～



▲優勝チーム「小川ファイヤーズ」

秋季軟式野球大会が10月14日に御宿町営野球場で開催されました。

大会は、4チームが参加し、雨が降る中熱戦が繰り広げられました。

決勝は「小川ファイヤーズ」と「シャークス」の対戦となり、1点を争う緊張した展開が続き、最後は「小川ファイヤーズ」がサヨナラ勝ちという結果となりました。小川ファイヤーズは春季大会に続いての優勝です。

優勝した小川ファイヤーズは、町代表として郡大会へ出場します。

ゲームには無い楽しさと難しさと

～御宿、布施小学校合同自然観察会～

川エビや小魚の他にゲンジボタルの幼虫や数種類のヤゴ、



観察のために採取した多くの生物の中には、川エビや小魚の他にゲンジボタルの幼虫や数種類のヤゴ、

町公民館主催による、御宿小学校、布施小学校5年生合同の自然観察会が高山田地区で行われました。今回は、これまでの観察場所である実谷地先から初めて場所を変更し、観音崎自然博物館の石鍋館長を講師として迎え、周辺に生息する動植物の生息環境について学びました。



▲自然の中で遊んでくださいと、子どもたちに語りかける石鍋館長

ヤモリなどを見ることが出来ました。また、ゲンジボタルの幼虫が主食とする「カワナニ」という巻貝も多く見つかり、ゲンジボタルの生息環境が優れている事が分かりました。水中生物以外にもトカゲやカエルの捕獲にも挑戦。子どもたちはトカゲの素早い動きや、カエルの予測不能なジャンプに苦戦しながらも仲間と力を合わせ、工夫をしながら捕まえることが出来ました。



▲何が取れたか興味津々

講師の方からは「こうした小川は、たまには人が入ることによって、むしろ環境が良くなるので、たまには外に出てこういった自然の中で遊んでください。都会ではこうした自然が無くなってしまい、貴重な存在になっていきます。是非とも御宿の自然を大事にして下さい。」とお話されました。

※観察用に捕獲した生物は観察会の後自然に戻しました。

ピックアップ防災

Vol.06

◆今後も触れ合う

機会を作ります

消防団フェスタ前日の豪雨により中止となり、消防団として大変残念に思っています。

◆25日から31日まで
○歳末夜警
(町内を消防団が夜警)

消防団12月の活動予定

■継続は力なり

岩和田保育所で11月14日に津波避難訓練を実施しました。

保育所職員は、避難車とおおいひもを使用し、旧岩和田小学校跡地まで迅速に避難しました。



子どもたちは先生の話を真剣に聞き、落ち着いて行動出来ました。

今後も保育所や小学校では避難訓練を継続的に実施し、職員それぞれが迅速な行動を採れるよう、また、参加者する全ての人の意識の醸成に取り組みます。

火災に注意!!

これからの年末にかけて火災の発生しやすい季節になります。夷隅郡市広域消防本部管内でも最近火災が多く発生しています。次の事に注意し、火災を未然に防ぎましょう。

- 寝たばこは、絶対にやらない。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどから離れたときは、必ず火を消してから。
- 燃えやすいものを、家の外に置かない。

防火予防ポスター展表彰



▲後列左から、羽田さん、榎本くん、小松さん、井上くん、前列左から小川さん、小林さん、吉野さん



御宿町教育長賞

御宿小5年 小松 未希

夷隅郡市広域市町村圏事務

組合消防長賞

御宿小5年 井上 昂星

夷隅郡市防火安全協会賞

御宿小3年 小林 千紘

(社)千葉県危険物

安全協会連合会長賞

御宿小3年 吉野 友菜

(社)千葉県消防設備協会賞

御宿小4年 小川 真奈

御宿町長賞

御宿小6年 羽田英里佳

御宿町消防団長賞

布施小4年 榎本 隆成

火災予防ポスター展の表彰を11月15日に御宿小学校で行いました。出品された作品は甲乙つけがたいものばかりでした。
表彰者は次のとおりです。
(敬称略)

健康
ワンポイント

インフルエンザが やってきた!!

注意!!

インフルエンザが流行しやすい時期になってきました。今回の健康ワンポイントは、インフルエンザとその予防法についてお知らせします。

インフルエンザとは…

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる流行性の病気です。インフルエンザにかかった人の咳やくしゃみ、つばなどにより、空気中にウイルスが放出され、このウイルスを吸いこむことによって感染します。

◎症 状◎



特徴として、普通のかぜに比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎、子どもでは中耳炎や熱性けいれんなどを併発し、重症化することがあります。

◎流行時期◎

日本では例年 11月～4月頃に多くみられますが、その他の時期に流行することもあります。

◎予 防◎

流行前にワクチン接種を受けることのほか、人ごみを避ける、十分な栄養や休養をとる、外出時はマスクを着用する、室内の乾燥を防ぐ、帰宅時にうがい・手洗いをすることなどが有効です。

インフルエンザ感染予防のため、町では平成 24年 10月 1日から 12月末日まで、65歳以上のインフルエンザ予防接種費用の一部を補助しています。また、60歳以上 65歳未満の方で、心臓・腎臓もしくは呼吸器機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方(医師の診断書または身体障害者手帳 1級)も対象となりますので、お問い合わせください。

子どものインフルエンザ予防接種と他の予防接種の間隔などでご相談のある方は、医療機関または役場保健福祉課にお問い合わせください。

※ 65歳以上の方には、9月末に個別に通知しています。なお、個別通知は平成 24年 9月 1日現在の住民登録に基づきお送りしていますので、それ以降に転入された場合はお申し出ください。

【問い合わせ】 保健福祉課 保健予防班 TEL 68-6717



太陽光発電・オール電化・エアコン
リフォーム・地デジテレビ・家電

店長の
秋場 秀一です!

PANA
CLAIR
シリーズ
あきば
御宿町新町312
TEL 68-2157

買ったあともおまかせください!
『即日訪問』で安心サポート

ブログで私たちの仕事を紹介中 ▶▶▶ オール電化 御宿町 検索

在宅介護でお困りの事が御座いましたらご相談ください。
お手伝いさせていただきます。
スタッフも募集しています。

ケアプラン作成・訪問介護
NOAH(のあ)

御宿町 岩和田 1056 電話 60-3868



**119番の受付先が
変更されます**

現在119番は夷隅郡市消防指令室で受けていますが、平成25年2月26日から千葉市にある「ちば消防共同指令センター」で受けることとなります。
通報の方法に変わりはありません。

を可能にしています。火災等の被害の軽減と救命率の向上が期待されます。

●通報は固定電話から

固定電話からの通報は発信地表示機能により、瞬時に通報場所の特定が可能です。しかし携帯電話からの通報では、通報場所が特定できない機種もあり、迅速な出動ができない事もあります。迅速な出動をさせるためにも、なるべく固定電話での通報をお願いします。

「共同指令センター」の概要

県内で共同運用を行うことで、業務の効率化が図られるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、大規模災害時等の相互応援体制が充実します。

●最新の情報通信機器

共同指令センターでは、最新の情報通信機器を配備し、119番通報から車両が到着するまでの時間短縮

特別公開!

「江戸風俗屏風」

県立中央博物館大多喜城分館では、菱川師宣筆の「江戸風俗図屏風」六曲一双(高細デジタル複製)のうち、春の風景が描かれた左隻を展示します。

▼会期

12月19日
平成25年1月14日
9時～16時30分

▼休館日

月曜日

※祝日の場合は開館し、翌日休館

▼入場料

一般…200円
高校・大学…100円
中学生以下…無料
65歳以上…無料

▼問い合わせ

県立中央博物館
大多喜城分館
TEL 0470(82)3007

ひな人形特選市 開催中

国道128号線勝浦市墨名交差点際 / 電話73-2876

暖「こてらんねえ！」
肌着あります!

ちょっと値段はするけど、暖かくて国産で仕立てもいいし、着心地も抜群!一度着たら「はあ、こてらんねえ」肌着が揃っています。

せきとく

勝浦店

快適衣料でイキイキ!
勝浦市勝浦76番地
電話 73-0401
水曜日にも営業中です。

県立勝浦若潮高校指定制服取扱店

少人数の家族葬から社葬までおまかせください

やすらぎのセレモニーホール **御宿法輪閣**



寺院葬も自宅葬も経験豊かなスタッフが対応いたします

株式会社 **アスカ** ☎ 0470-60-2711 御宿町須賀1629-1

広告募集中

町では、「広報御宿」に有料広告を掲載しています。店舗・企業の宣伝や求人募集などに是非ご利用ください。

- 料 金 / 1回1枠町内7,500円 町外9,000円
(6ヵ月継続申込者は1回につき500円割引)
- サイズ / このスペースの大きさ
- 申込・問い合わせ 企画財政課 TEL68-2512

編集後記

御宿中学校の生徒2名が広報係に社会体験学習に来てくれました。今年も若い二人のアイデアや発想力に驚かされながら3日間を過ごしました。

私自身も貴重な体験となり、二人から分けてもらった若いアイデアや発想力を今後の業務に活かしていければと思います。(井本)

人の動き

- 8,020人(+3人) 男 3,815人 女 4,205人
世帯数 3,623 (平成24年10月31日)
- ※住民基本台帳人口数
- ★外国人登録法が改正され住民基本台帳人口数に加わりました。

御宿分署の出動状況

- 火災件数 0 救急件数 41 (平成24年10月中)
- 御宿分署 ☎80-0136

交通事故発生状況

- 発生件数 18 死者数 0 負傷者数 23
(平成24年1月1日～10月31日現在)

町民バス利用状況

- 乗車人数 180人 (平成24年10月中)

ダムの貯水状況

- 有効貯水量579,000m³ 有効貯水率 100%
(平成24年11月1日現在)

町浄水場の水質検査結果

- 放射性セシウム
平成24年11月7日 採水の検査結果「不検出」
※4月以降放射性ヨウ素については半減期が短く周辺環境において検出されていないことから4月以降対象外となりました。

慶弔 (10月届出)

- 出生 1 死亡 16

俳句愛好会【おんじゆく俳壇】

今月の兼題【紅葉】

はるかなる尾瀬の木道草紅葉
背負ふ子の声甲高し赤とんぼ
紅ひかへ細身で堪える吾木香
天平の絵巻を語る紅葉かな
一人身の暮らしあれこれ冬近し
まんまるの甘酒色の月が出る
目を溜めて京都の寺の夕紅葉
涸沢の冷気に映える初紅葉

大曾根利枝 本吉 愛 金子 澄子 桜谷 敬蔵 堺 陸子 佐野志保子 菊池 武夫 松村 全

コスモスのみだれし庭に猫二匹
洩るる灯をみつけて急ぐ暮の秋
すり鉢を持つ手に力とろろ汁
木洩れ日のひとひらとなり秋の蝶
万葉の木々の紅葉や小倉山
碑にその名残せり榼紅葉

◎涸沢||穂高岳の高峰
◎小倉山||京都嵯峨にある紅葉の名所
◎万葉||多くの草木の葉
◎榼紅葉||うるし科で燃えるように美しい
(御宿俳句愛好会)

澤崎 幸子 本吉美絵子 佐藤きよみ 小野 玲子 岡本 俊康 鶴岡とく路

☆低価格 (密葬・家族葬・直葬等)
☆保冷庫にてご遺体のお預かり
病院のお迎えからご葬儀・法事まで

もしも...の時は
(有)藤ライフサービス
いすみ市にたつた4250 TEL 64-0070
☎0120-64-0071

小ホールも
ございます

手づくりの味
お弁当・オードブル・祝・仏事用の
仕出しも承ります《配達可能》

庄兵卫
☎0120-101443 七福天入口
TEL 63-0053 FAX 63-9177

12月 師走 タウンカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
						1 ○イルミネーション 点灯開始
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 ○乳児相談 13:30~15:00 (保健)	12	13	14	15
16 ○御宿町長選挙 ○衆議院議員総選挙	17	18 ○子育て相談 10:00~11:30 (御児)	19	20	21 ○特設人権相談 9:00~15:00 (社協)	22
23 天皇誕生日 ○町民清掃 ○サンデーオープン ○月の沙漠記念館 町民無料の日 30 ○歳末夜警	24 振替休日 31 ○歳末夜警 ○年末特別 募集収集	25 ○歳末夜警 ○固定資産税 第4期納期限 ○国民健康保険税 第6期納期限 ○介護保険料 第6期納期限	26 ○歳末夜警	27 ○歳末夜警	28 ○歳末夜警	29 ○歳末夜警

(保健)⇒町保健センター (御児)⇒御宿児童館 (社協)⇒町社会福祉協議会(地域福祉センター)

ONJUKU Winter illumination 2012 to 2013

ONJUKU Winter illumination を点灯する季節となりました。12月1日に点灯を開始し、翌年の1月14日までの間、輝きを放ちます。

このLED イルミネーションは御宿ウォーターパーク前から月の沙漠記念館前広場までの間で設置され、御宿の冬を彩ってくれます。

【問い合わせ】 町産業観光課 TEL 68-2513
町観光協会 TEL 68-4143

